

石神井川排水区雨水幹線整備事業

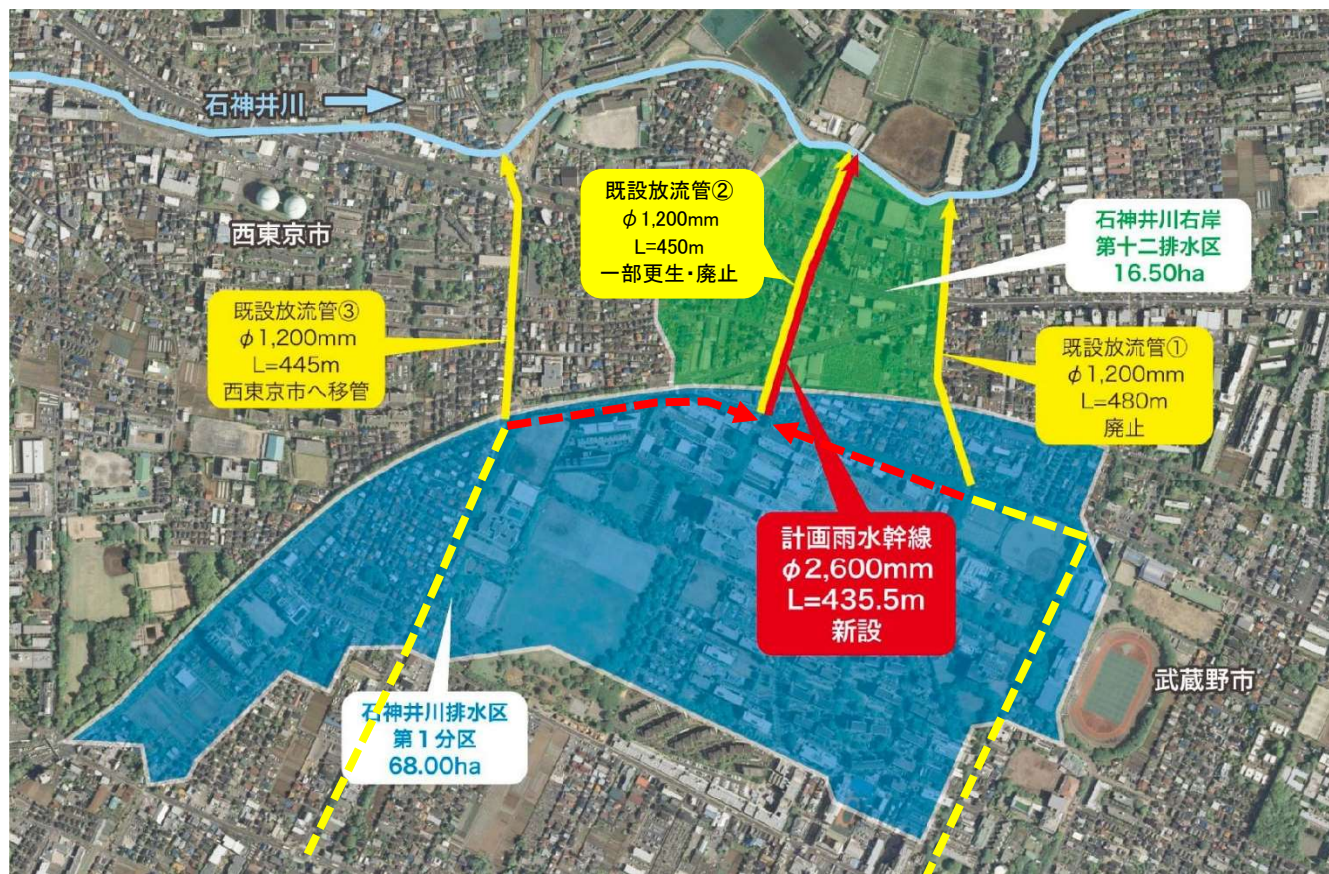
●事業概要

下図黄線は、昭和 12～13 年頃に、中島飛行機株式会社が敷地内排水を目的として築造した。昭和 29 年に武蔵野市が終戦後の整理会社である富士産業株式会社と売買契約を締結し、武蔵野市と西東京市（旧保谷市）の一部の雨水を排水する管として使用している。

平成 19 年度に管きょ調査を実施したところ、緊急を要するほどの劣化状況であることが判明した。

下図の雨水幹線である赤破線は武蔵野市が施工（S51.52 に築造済）し、赤実線は西東京市が施工するとされていたが、西東京市としては当該雨水幹線の優先順位が低いという報告を受けた。

これを受け、事業主体を西東京市から武蔵野市へ変更し施工することとした。



●計画雨水幹線築造工事（H26～28）

NTT 武蔵野研究センター北門前を発進立坑として推進工法による計画雨水幹線の築造を行った。なお、吐口は計画雨水幹線の位置に設置されていることから、現在は到達立坑側にある特殊マンホールで仮接続されている。



●雨水幹線切替工事（R1~3）

築造した計画雨水幹線への切替を引続き行う予定であったが、西東京市内で既設放流管への接続が判明したため、接続替えの対応後に、改めて詳細設計を行い、令和元年度より切替工事を行っている。

